

● 社団法人 プレハブ建築協会九州支部 ●

環境ボランティア活動で社会貢献を



1 プレハブ建築協会九州支部の加盟13社から15人が環境ボランティアに参加 2 土の感触を楽しみながら植栽
3 ミント、ラベンダー、カモミールなど香りのよいハーブが選ばれた

(社)プレハブ建築協会九州支部加盟企業(五十音順)

旭化成ホームズ㈱、エス・バイ・エル㈱、三洋ホームズ㈱、スウェーデンハウス㈱、セキスイハイム九州㈱、積水ハウス㈱、大成建設ハウジング㈱、大和ハウス工業㈱、トヨタホームつくし㈱、パナホーム㈱、㈱富士ビー・エス、ミサワホーム九州㈱、三井ホーム㈱

13企業が地球環境保全に意欲

プレハブ住宅メーカーなど13社が加盟するプレハブ建築協会九州支部が「市民と共に地球環境について考えていきたい」と環境ボランティア活動を開始した。プレハブ工法による住宅建築の技術・需要開発やそれに伴う各種の試験を実施し、安全性・居住性・耐久性に優れた住まいを供給している同支部。近年は工場生産ベースでの二酸化炭素(CO₂)削減や建設廃棄物のリサイクル、環境への負荷を最小限に抑えた住宅造りを提案してきた。

鶴田芳文同支部長は「地球温暖化の原因となるCO₂は暮らしを見直すことで排出を削減できる身近な問題であり、住宅業界も太陽光発電や燃料電池の導入などに積極的に取り組んできました。リフォームや200年でも快適に暮らすことができる住まいづくりは、環境への配慮から生まれた発想です。しかし、製造面から環境を考えるだけではなく、自分たちの体を動かす環境ボランティアという形で社会貢献していきたいと、加盟企業の意見が一致したのです」と、活動のきっかけを語る。

1回目は、福岡市内の小学校を中心に緑化活動を推進している「環境緑化を考える会」のアドバイスで、福岡市立東福岡特別支援学校(福岡市東区)にハーブの苗をプレゼントし、子どもたちと一緒に植栽する活動に決まった。「1回だけではなく、継続可能な活動がしたい



「環境ボランティアを今後もずっと続けていきたい」と鶴田芳文支部長

と希望したところ、ハーブの植栽と育ったハーブを利用したせっけん作りの話をいただきました」と鶴田支部長。「子どもたちが授業の一環として作るハーブせっけんを住宅展示場で提供し、訪れた人に環境を守る大切さを伝えていくのもいいね」などとアイデアが膨らみ、実際の活動前から、ボランティアへの意欲が高まっていたという。

中学生と共にハーブを植栽

ハーブの植栽は13社15人が参加し、10月7日に同校で実施された。準備した苗はミント、レモングラス、ラベンダー、カモミール、ローズゼラニウムの5種各20株で、応援に来た福岡市緑のコーディネーターが作業の前にハーブの種類や利用方法、効能について説明。ボランティア初回とあって互いに面識がなく、少し緊張の面持ちで静かだった参加者は、手渡されたハーブのにおいをかぐと、「ほんとだ、バラのにおいがする」「さわやかな香り」とリラックス。会話も弾み、その場が一気に和んだ。

植え方など作業の説明の後、ボランティアは同校中学部の生徒15人と一緒に花壇に入り、ハーブの苗を1本ずつ丁寧に植えた。日ごろ土に触れる機会がない人も多く、苗に土をかぶせ軽く押さえながら感触を楽しんだ様子。「大きなあれ」と声を掛けながら水やりする子どもたちを優しいまなざしで見詰めた。

成長したハーブを使ったせっけんづくりは来年5月ごろの予定。同協会の環境ボランティアは、今後も子どもたちや土、緑との触れ合いを通して、環境への思いを深めていく。